

INTERVIEWS

現在世界的に好調なPING が描く**未来**のビジョンとは？

John K Solheim

PING, Inc. 社長 / ピンゴルフジャパン株式会社 代表取締役社長

ジョン・K・ソルハイム氏

最高のパフォーマンスで、楽しいゴルフを。

2019年はG410シリーズによって、日本の国内男女ツアーで15勝を飾った他、アマチュアゴルファーにもPINGクラブの高いパフォーマンスが評価された結果、非常に好調な売れ行きとなり、会社としての計画や目標をクリアできました。PINGでは、61年間積み重ねてきたゴルフクラブ造りと最新テクノロジーを融合させた「革新的な製品開発力」、その製品で最大のパフォーマンスを発揮できるよう、それぞれのゴルファーに合ったクラブスペックを提案する「カスタムフィッティング」、そして自分に合ったクラブを1本1本丁寧に、いち早く組み立ててお届けする「最高品質の国内組立」の3つの柱を1959年の創業以来、変えることなく守り続けてきました。これからもこの方針を変えずに、弊社のスローガンである「PLAY YOUR BEST」(あなたの最高を生み出す)というスローガンのもと、PINGのクラブを使って、ゴルフが楽しいと思っただけのような製品を届けたいと考えています。

PINGとして一番大切にしていることは、飛ばしたい、方向性よく、弾道を高く、3パット撲滅などゴルフクラブにおける総合的なパフォーマンスが最優先されること。それらを伝える手段ももちろん大切と考えますが、まずはゴルフクラブを造るという根本の軸がブレないようにしていきたいと考えています。

PLAY YOUR BEST

TSI GROOVE & SPORTS とタッグを組んだ理由について

現在展開しているアパレルのグローバルラインに関しては、一定のファンには支持されていたのですが、クラブビジネスの拡大に伴い、多くの方がアパレル商品にも興味を示されるようになり、より日本人の好みに合った商品を展開して、ご満足頂きたいとの思いから、日本では多くのブランドのアパレルビジネスで実績のあるTSI グルーヴアンドスポーツ社とのライセンスビジネスの形をとるに至りました。私は以前、日本に3年間住んでいました。そのときからTSI グルーヴアンドスポーツ社とは面識があり、日本でのビジネス展開やブランド構築で感心させられる部分が多々ありました。さらに、PINGが韓国でライセンス契約をしているクリス・ファッション社がとても好調で、ブランドを強くする展開がTSI グルーヴアンドスポーツ社と同じであると感じていました。日本ではTSI グルーヴアンドスポーツ社と一緒にPINGブランドを強化していきたいという考えをお伝えし、契約を締結することとなりました。

価値観を加え、常に新しい提案を。

PINGの子会社を設立して日本市場へ参入するのは、2004年と非常に遅くなりました。その当時のゴルフ市場では「フィッティング」という言葉もまだ浸透してなかったように思えます。参入してから16年後の今、日本市場では、フィッティングすると自分のゴルフパフォーマンスが上がって、ゴルフが楽しくなる、というように「フィッティング」の価値が高まり、購入時の決め手にもなっ



ているなど、「フィッティング」が徐々に浸透してきています。このようにモノを買うときに「価値観を加える」ということはTSI グルーヴアンドスポーツ社も同じ考えで、今後もゴルファーにとってより良いゴルフ道具・用品を購入できる方法を、常に新しい提案を持って展開していきたいと考えています。これからスタートするPINGアパレルをどうぞ楽しみにしてください。

BRAND NEW PING!



Manabu Senza

仙座 学

株式会社 TSI グルーヴアンドスポーツ 代表取締役社長

PINGのゴルフウェアは、どう変わっていくのか？

日本のゴルフ業界をしっかりと後押ししていきたい

現在の日本のゴルフアパレル業界は飽和状態ではありますが、それはどのブランドもやることが一通りやりつくされ、お客様もほとんどの物を持っていらっしゃるから、だとも思っています。天候不順などもあり、年々日本らしい四季の区別も無くなりつつある中で、それぞれの商材を打ち出し難いのが現状です。しかし、その中でもゴルファーの方々の購買意欲を掻き立てるような商品を作れるブランドとして勝ち残っていきたくと思っています。またゴルフアパレルメーカーとしては、今女子プロゴルフは若い世代で活躍する選手が続々と出てきて盛り上がりを見せていますが、男子プロゴルフも活気づくように我々アパレル業界としてもしっかり後押しをしていきたいです。

「PINGブランドのリニューアルはエキサイティング」

最近PINGユーザーは本当に増えていますよね。PINGは技術力のみならずフィッティングサービスにも人気があり、ますますゴルフギアブランドとしての価値が高まっていると認識しています。実際、私もフィッティングをしてもらい、クラブを使用しておりますが、モノ作りからサービスまで一貫した姿勢を貫いているブランドという印象があります。そのPING社とは数年前より面識はあったのですが、この度双方のタイミングが合い、日本でのピンゴルフアパレルのライセンス契約に至りました。今、勢いのあるPING社と契約できたことは、大変エキサイティングで楽しみです。まずは、ゴルフクラブで確固たる信頼を得ているPINGブランドを理解し、我々が得意としているファッションやカルチャーなどのフィルターを通して我々が想うアメリカンスタイルに「楽しさ」をプラスした商品を作っていきたいと思っています。

ENJOY GOLF を日本だけでなく、世界へ。

まずは若い世代のゴルフ人口が増えるように、ゴルフを始めやすいと思っ、プレーしやすいと思える環境を整えていきたいです。ゴルフはルールやマナーなど他のスポーツよりも色々覚えることが多いかと思いますが、もっと気軽にできるスポーツにしていきたいです。そして“ENJOY GOLF”を日本のみならず、世界に発信することで我々のファンを増やしていきたいですね。

